

「生徒が輝く 日本一の小規模校」を目指して
 自立した社会人の育成(基盤づくり) ~ 「夢」・「努力(=やり抜く)」・「感謝」 ~



平成25年度矢板市立泉中学校だより【第13号】

中学「し、ずみ」

■発行/平成25年10月30日(水)

地区駅伝 たすきをつなぐ

10月25日(金)「塩谷地区駅伝競走大会(男子59回・女子22回)」が高根沢町民広場の周回コースで行われ、本校男子・女子両チームの選手が日頃の練習の成果を發揮して伝統ある泉中学の「たすき」をしっかりとつなぎました。

今年度から南那須地区が同時開催方式(塩谷地区大会と同会場、かつ同時スタート。しかし、成績は別々)とするやり方で参加。男子20チーム、女子は18チームでのレースとなりました。まず、女子の部が10時にスタート。1区の工藤麻衣さんが昨年のチーム記録を10秒上回るタイムで2区にたすきをつなぐと、後続のランナー

も自分のペースを守りながら力走。結果、昨年のチーム記録を1分16秒縮める54分35秒でゴールしました。男子の部は11時30分にスタート。1区の村上和寿さんが区間賞をとる快走で弾みをつけ、2年連続2区を担当する五月女友哉さんも昨年の自己記録を31秒縮める力走。3~6区でも各自が持てる力を發揮。昨年のチーム記録を2分14秒も縮める1時間5分11秒のタイムでゴールしました。全20チーム中13番目で、昨年度より大きく順位を上げました。今回は1年生が3名走っており来年度の活躍が今から楽しみです。



駅伝メンバーいざ出陣!

昨年度のこの大会の結果をふまえ、それまで実施していた「持久力向上タイム」をバージョンアップして1年となりますが、男女ともその成果が着実に出ていくことを嬉しく思います。

とにかく小さな学校の生徒は心が内側に向きがちです。しかし、英検・数検・漢検、ともなまつり、英語スピーチ、部活動同等を活用しながら生徒の心の目を外に向かわせるように努力しています。その1つとして、駅伝では、本校のベストメンバーが駅伝のよさを味わえるようなシステムにしたいと考えています。保護者の皆様の御理解・御協力をよろしくお願ひいたします。

<レース出場者> *補助やマネージャーとして出場者を支えてくれたみなさん、ありがとう。

	1区	2区	3区	4区	5区	6区
男子	1年 村上和寿	3年五月女友哉	1年 松平隆宣	2年 片山順平	1年 竹田綾介	3年 手塚新輔
女子	3年 工藤麻衣	1年 佐藤璃和	3年 渡邊夏海	2年 吉成加奈	2年 鈴木菜那	

*女子の吉成さんと鈴木さんは、チーム出場のため助っ人として2週間前に参加してくれました。感謝です。

地区英語スピーチコンテスト

10月24日(木)那珂川町小川福祉センターで第23回栃木県スピーチコンテスト塩谷南那須地区大会が行われ、本校からは3名の生徒が下記のテーマで参加し、英語での表現力を競いました。

- 1年 小平ニコル 「My Home Countries」
- 2年 森戸 聖実 「The Next 140 Years」
- 3年 石下 隆浩 「Becoming A Leader」

3人はこの大会に向け、夏休みから原稿作成・推敲・練習を重ね本番に臨みました。第1回目のリハーサルは、10月9日(水)13:05~泉小学校体育館で昨年同様泉小全児童を前に行いました。そして、中学生全員の前で2回目のリハーサルを10月17日(木)の始業式後行いました。その後も、根本・村上の両指導者が寸時を惜しんで指導に当たり本番を迎えました。

3人とも本番では物怖じせず堂々とした発表を行いました。審査の結果、1年生の小平さんが最優秀賞、2年森戸さん・3年石下さんが優良賞を受賞しました。最優秀賞に輝いた小平さんは11月11日(月)の県発表会に参加します。これからさらに練習を重ねて実力を磨き、代表と



発表前、ステージ最前列で練習する本校代表者

して自信溢れる発表を期待しています。

伝統の「落ち葉掃き」今年も実施

今年も、先輩から後輩へと引き継がれている「朝の落ち葉掃き」を美化委員会が中心となって実施しています。

泉中の伝統となっている、この生徒による自主的朝の落ち葉掃きを今年も先月下旬から開始。毎朝、美化委員が7時30分頃から8時頃まで実施しています。そのおかげで、きれいに掃き清められた中を生徒達が気持ちよく登校できることをありがたく思います。また、この活動は校内はもとより東通用門～正門に面する南通りも実施するなど社会貢献ともなっています。

中学校は「自立した社会人の基盤づくり」を行うところです。伝統を継続する中で人の上に立つものの在るべき姿を学習する機会となっていることを嬉しく思うとともに、実践していることの価値について朝礼等を通じて生徒達に伝えていきたいと考えています。



ともなりまつり予告編

11月3日(日)の「ともなりまつり」では、今年も全校生徒が「総合的な学習の時間」の活動の場として参加します。

総合的な学習の時間は、泉地区小中一貫教育の3つの教育＝「交流的教育・連携的教育・一貫的教育」の中の「一貫的教育」の大きな柱で、『ひとづくり・ものづくり・まちづくり・コトづくり』の4コースを柱としたカリキュラムで実施しています。ともなりまつりは、その活動の場であるとともに発表の場でもあります。

昨年が目玉は上原チョーとダンプ松本のコラボでしたが、今年が目玉は、「わくわく泉タイム」1時間を何とラジオベリーが取材し放送することです。3年の森本由姫さんと五月女友哉さんが、松浦千佳アナウンサーとコラボして司会を勤めます。10月24日(金)16:00からはそのPR取材で来校。その様子を10月29日(火)FMラジオベリー13:30～の「矢板時間」で放送しました。11月3日(日)の本番では松浦アナウンサーが泉中生にふんして取材参加。その様子を後日放送する予定です。人気者ファイブスリーの環境PR、合唱部の演奏など約1時間の発表がどのように放送されるか今から楽しみです。



1年毎にバージョンアップし続ける「泉中の総合的な学習の時間」。これらの活動を通して生徒一人一人がそれぞれの自己の生き方にふれたり、心の目を外に向けてたりするようにしたいと考えています。価値ある1日となるよう、授業が進行中です。乞うご期待！

台風26号で大きな被害がありました

10月16日(水)関東の東海上を通過した台風26号の影響で本校に大きな被害が出ました。

16日(水)は台風が栃木県と同じ緯度を通過した後風が極めて強くなりました。11時少し前、東通用門のすぐ西にある桜の木が東側に倒れました。右端の写真のように東通用門を塞ぐ形となりました。当日学校に入っていた耐震工事関係の業者の出入り、翌日の第2学期始業式等が心配されました。また、これ以外にも、おれた枝が電線にかかったり、校舎西のフェンスが倒れたり、折れた枝が隣家の屋根にかかったりしました。

被害確認後、早急に教育委員会に連絡したところ、11時40分頃には泉土建さん・東泉林産さんが来校。すぐに撤去作業を開始しました。16時20分頃まで精力的に作業をすすめてくださり、根元からダメになった木4本・枝の折れた木2本等を処理するとともに切った幹や枝等を処分し、授業に支障のない状態にしてくれました。そして、26日(土)に調理場の煙突・27日(日)に西側フェンスの修復をもって被害にあったものについての処理がほぼ終了しました。

なお、当日の迅速な処理の背景には、学校が教育委員会に連絡するよりも前に駐在や市役所に素早く連絡をとってくれた中学校の近所の方々の御協力があります。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。たいへんありがとうございました。



倒れた 西側フェンス



枝が折れ電線にかかった桜の枝



通用門を塞いだ桜の木